

ジュニアミュージアム



ただの絵か、と思うでしょう。
ところが、ピンコにはひみつがあるというお話です。

一ぱん心にのこったのは、画用紙にかいたピンコが、画用紙からとびだせることです。なん

で?と思いました。つとむくんもそのひみつをしりません。だから、つとむくんのつくえの上のちらかっていたえんぴつや紙くずを、しつぽをほうきのかわりにしてそうじをしてあげても、つとむくんはピンコだと思わないのです。

ほかに心にのこったのは、ピ

ンコがかぜをひいたつとむくんにうさぎの森へ行つてつとむくんのくすりをもらつてくるのはすごいです。行つたことのないところに行くなんてやっぱりすごいです。わたしだつたらこわいので行けません。

この本を読んで、わたしがかいた絵からも、ピンコがとびだしてきてほしいです。そして、だれとでもひみつで話がしてみたいです。

わたしが読んだ本は、「ピンコがさぎのふしぎなくすり」です。この本は絵をかくのが大きなほしのつとむくんが、画用



「ピンコのうさぎの
ふしぎなくすり」
を読んで
木内 日菜さん

三沢小2年

皆野小3年

強矢ひかるさん

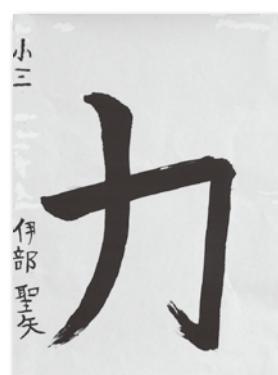
国神小3年

伊部 聖矢くん

「裏の畑」

皆野中2年

山口明日香さん



(本人のコメント)
私はこの絵を描く時に、いつも見ている風景を少し違つたようになつたので、水彩の他に、クレパス、クーピー、ペン、パステルなどを使い、不思議な色合いになるよう心がけました。

(評) 日菜さんも絵をかくのが大好きですね。きっとこの本を読んで自分と重ねているところがあつたのでしょう。絵と話がでくるってステキですね。

(評) あさがおが咲いた時のうれしかった様子が、大きくしっかり描けましたね。